

売買シグナルはどうつかむか!?

株価が読める チャート分析 入門

初心者からセミプロまで使える
テクニカル分析の決定版

林 康史 著

- テクニカル分析とチャートの関係
- ファンダメンタルズ分析の限界とは?
- 相場の変動要因をチャートで読む
- 3つのトレンドを読み解く
- グランビルの8法則を押さえる



かんき出版

(売り時・買い時・儲け時がわかる
シグナル事例が満載!)

【著者紹介】

林 康史（はやし やすし）

大和証券投資信託委託株式会社 調査本部長付主席研究員。

◎—昭和32年、大阪生まれ。大阪星光学院高等学校、大阪大学法学部卒。久保田鉄工株式会社（現・株式会社クボタ）で海外営業・原価管理を担当後、転職、住友生命保険相互会社で外国為替・金融先物の取引等を担当。住友生命総合研究所に出向し調査部主任研究員（欧米の経済・市場予測・金融制度等を担当）。

◎—平成10年4月に東京大学大学院法学政治学研究科修士課程に進学。社会人と学業を両立させるべく、平成10年7月、大和証券投資信託委託株式会社に転職。また、平成12年4月から、一橋大学大学院法学研究科博士課程に在学。金融に関する法制度を研究している。

◎—大学時代は探検部に所属。アンデス調査隊長としてアンデス・アマゾンを探検。趣味は、旅行、日本酒。

◎—東北财经大学（中国大連）客員教授、日本テクニカル・アナリスト協会会員。日本金融学会会員。金融法学会会員。また、平成12年度から一橋大学大学院国際企業戦略研究科非常勤講師を兼任。担当する講義は短期売買・取引。おそらく、大学院生兼教官というのは一橋大学始まって以来のことと思われる。

◎—主な著書・訳書・論文に、『相場としての外国為替』、『相場のこころ』（訳）、『通貨政策の経済学』（共訳）、『アジア通貨危機の経済学』（編著）、『欲望と幻想の市場～伝説の投機王リバモア』（訳）、『金融リスク管理戦略』（共訳）、以上、東洋経済新報社。『W.D.ギャン著作集Ⅰ・Ⅱ』（共訳）、『大投資家ジム・ロジャーズ世界を行く』（共訳）、『ギャンの相場理論』（編著）、『ラリー・ウィリアムズの相場で儲ける法』（共訳）、『はじめてのテクニカル分析』（編著）、『国際投資へのパスポート』（共訳）以上、日本経済新聞社、『徹底予測21世紀この国が買い、この国は売り>天才投資家の世界バイク紀行』（共訳）、講談社文庫、『エリオット波動 ビジネス・サイクル』（ハミルトン・ボルトン著。監修）日本証券新聞社、『イギリス金融サービス市場法～外国証券関係法令集』（共訳）日本証券経済研究所、他、多数。近刊に、『投資の心理学』（仮題、監訳）東洋経済新報社等。

◎—サイトは、個人のウェブ・サイトhttp://www.tokyoin.com/market_market/の他、<http://www.max-value.com/hayashi>など。

株価が読める チャート分析入門

〈検印廃止〉

2000年5月17日 第1刷発行

2001年9月3日 第3刷発行

著 者——林 康史◎

発行者——境 健一郎

発行所——株式会社 かんき出版

東京都千代田区麹町4-1-4 〒102-0083

電 話 営業部：03（3262）8011（代）

編集部：03（3262）8012（代）

総務部：03（3262）8015（代）

FAX03（3234）4421 振替 00100-2-62304

<http://www.kanki-pub.co.jp/>

印刷所——大日本印刷株式会社

乱丁本・落丁本は小社にてお取り替えいたします。

© Yasushi Hayashi 2000 Printed in Japan

ISBN4-7612-5848-9 C2033

売買シグナルはどうつかむか!?

株価が読める チャート分析 入門

初心者からセミプロまで使える
テクニカル分析の決定版

林 康史 著



かんき出版

テクニカル分析、チャート分析の解説に入る前に、私がなぜテクニカル分析を勉強するようになったのか、その経緯を述べたいと思います。これから、テクニカル分析を勉強しようとする人には参考になるかもしれません。

■グラフで将来が予測できる!?

私がテクニカル分析を勉強するようになったのは、メーカーから保険会社に転職して、為替ディーラーとなり、半年ほど後のことでした。ビギナーズ・ラックがなくなり、損が出始めたためです。

上司からは入社時点で「チーム内に1人はテクニカル・アナリストが必要だから、テクニカル分析を勉強しろ」と言われていましたが、まさかグラフで将来が予測できるとは信じられず、無視していました。

当初はそれでも儲かっていたのですが、次第に負けはじめ、そうになると転職の身でもあり、言う通りにするにしくはないと考えて、勉強を始めたのです。今にして思えば、その時期に失敗していたよかったと思います。

これが勉強を始めると意外に面白いのです。「テクニカル・アナリストはファンダメンタルズのわからない馬鹿か、勉強嫌いの怠け者」という悪口も耳にしましたが、なるほど、「馬鹿でも理解できるほど簡単で、怠け者でもいったんマスターすれば後々楽に使いこなせるほど普遍性の高いものである」というのも真理だなと、逆に改めてテクニカル分析の持つ特長に感心したりしたものです。

斯界における最高のエコノミストであり、テクニカル・アナリストであった故・本郷元秀氏に師事したことも幸運でした。「予測のうち何割がテクニカルで、何割がファンダメンタルズか」と尋ねると、「考えたこともない。同じものを見ているだけでしょ」との答が返

ってきました。分析の結果、予測が一致しないのは未熟だからだと言われた気がしたものです（ファンダメンタルズとテクニカルの両方見ることをテクノファンダメンタルズと言う人もいますが、それは現場では珍しいことではなく、ことさら名称をつけるほどの話でもありません）。

先生の発言は、いずれの技法においても完成度を高めよという感じでした。それは正しいでしょう。しかし、たとえば、テクニカルの完成度を高めていけば、ファンダメンタルズは不要ということになりはしないでしょうか。あるいは、結局、どちらも完成するということがなく、補完する必要があるということになるのでしょうか。

■テクニカル分析は普遍性が高い

RSIやDMIなどの技法を開発したことで知られ、テクニカル分析の中興の祖であるJ.W.ワイルダー氏にも同様の質問をしたことがあります。

彼はもともと工場を設計するエンジニアでしたが、不動産業に転じ、年齢的には遅くマーケットの世界に入ってきました。その彼が最初に考えたことは相場の数理的処理だったといいます。

というのも、ファンダメンタルズは商品によって異なりますし、時間とともに変遷しますから、理解し実践するまでにかなりの時間がかかります。

一方、テクニカル分析はファンダメンタルズ分析と比べると普遍性が高く、時間の無駄が省けると考えたというのでした。

「ファンダメンタルズはいっさい見ないのか」という私の質問に、「有効だと思うが、個人的にはテクニカル分析しか用いていない。それで十分間に合う」と答えてくれました。これはこれで卓見というべきでしょう。

また、「僕はファンダメンタリストだから、テクニカル分析は使わない」と広言する人がいます。しかしながら、これは自らを二流のファンダメンタリストだと宣言しているのに等しいのです。

現実には、今やテクニカル・アナリストの存在は市場で無視でき

ないほどであり、その存在自体がファンダメンタルズだからです。かつて上司が「チームに1人はテクニカル・アナリストが必要」と言ったのはまさしくこの点にあったのだと思います。

出版社からの依頼は、テクニカル分析、チャート分析の入門編をわかりやすく、網羅的に、かつ実戦的に、というものでした。その意図をどこまで満足させることができるかはわかりませんが、それらの観点から、また、刻々と変化する相場を逐一追いかけることはできない読者がほとんどであるということから、私なりに考えた枠組みで話を進めたいと考えています。多少、普通のテクニカル分析入門とは順序や内容が違うものとなるでしょうが、読んで損のないものにするつもりです。

2000年4月

林 康史

株価が読める
チャート分析入門



目次

プロローグ

テクニカル分析への招待

1 テクニカル分析への入口 18

- 相場の変動要因はいろいろある
- 相場に介在する人間の欲望は計量化が難しい

2 テクニカル分析と微分の話 20

- テクニカル分析は理由探しをやめること
- グラフを見て判断するのがテクニカル分析

3 テクニカル分析とチャートの関係は？ 22

- チャートはテクニカル分析のスタートライン
- テクニカルという言葉には2種類の意味がある
- チャートとは？
- 過去の動きを把握するのにはチャートは手っ取り早い

4 説明できないものを大切にしよう 26

- テクニカル分析は非合理的な発想も含む
- 「2分の1戻し」を説明できるか
- チャート分析になぜ黄金比を使うのか
- チャートなんかで相場がわかるはずがない!?
- 占星術で相場を予測する？
- 相場にかかわる者は不可思議な部分を受け入れる必要がある

5	テクニカル分析VSファンダメンタルズ分析	30
	◎ 対峙するのか、同源なのか	
	■ ファンダメンタルズ分析は演繹法、テクニカル分析は帰納法	
	■ 一流のファンダメンタリストはチャートが読めるはず	
	■ テクニカル分析はヒストリカル・アナリシス	
6	アンチ・チャート論について考えてみよう	36
	◎ テクニカル分析に対する偏見・誤解に答える	
	■ 限界はファンダメンタルズ分析にもある	
	■ テクニカル分析の内容についての誤解	
	■ テクニカル分析の領域・定義についての誤解	
	■ 相場はランダム・ウォークか	
	■ ファンダメンタルズ分析との関係	
	■ 相場は収益を上げることが目的	
7	テクニカル分析の特徴	44
	◎ 重要な特徴が2つある	
	■ デンジャー・ポイントが把握できる	
	■ テクニカル分析はシンプル	

基礎編

テクニカル分析の基本を 押さえておこう

1 チャートとは何だ? 48

- チャートは相場のグラフ
- チャートはテクニカル分析の基礎資料

2 テクニカル分析とは何だ? 50

- 価格変動の特性を調べる
- 「外の論理」がファンダメンタルズ、「内の論理」がテクニカル?

3 高値・安値、年間の価格変動の動きを押さえよう 52

- 最高値・最安値が重要なポイント
- 相場は期待では予測できない
- 2000年の円・ドル相場を予測してみる
- 年間の変動幅は単純だが使える

4 リトレースメントとは何だ? 56

- この道はいつか来た道……
- 2分の1リトレースメントとは何か
- リトレースメントが起こる理由
- リトレースメントと三角保合
- リトレースメントの実例

5 リトレースメントの比率① 黄金分割 62

- テクニカル・アナリストが利用する比率
- 比率は1対1.618

6	リトレースメントの比率② フィボナッチ数列	64
	◎ 黄金分割の比率の素 ■ エリオット波動もこの比率を駆使している	
7	トレンドの重要性	66
	◎トレンドには上昇・横這い・下降の3種類がある ■相場全体の勢いを知ること	
8	タイム・サイクルとは何だ？	68
	◎相場の動きの循環を考える ■トレンドの特徴 ■季節性 ■循環	
9	支持線と抵抗線について知っておこう	72
	◎売り方と買い方の勢力が逆転した点を結ぶ ■強気支持線、弱気抵抗線 ■曲線の支持線や抵抗線ができることもある	
10	トレンドラインを使ったテクニック	78
	◎トレンドラインのブレイクが売買シグナル ■トレンドラインのブレイクの売買は基本中の基本	
11	トレンドが形成される理由を知っておこう	80
	◎値頃感などいくつかの理由が考えられるが…… ■トレンドが形成される理由は？ ■トレンド・ブレイクの後には反対に作用する	
12	中段保合について知っておこう	82
	◎代表が三角保合 ■三角保合のパターンはいろいろある	

13 反転パターンを知っておこう 86

- 長期に渡ってスケールが大きいほど重要なシグナル
- 反転パターンは中段保合パターンより重要
- ヘッド・アンド・ショルダーズ
- トリプル・トップ
- ダブル・トップ
- ラウンド・ボトム
- Vトップ
- ライン・ボトム

14 価格・時間・出来高について考えておこう 92

- 将来を予測するキーポイント
- 相場は時間の関数でもある

15 終値について知っておこう 94

- 終値は明日に一番近い取引価格
- 1日の出来高すべてを織り込んだ終値は思考の拠りどころ

16 ギャップとは何だ? 96

- 気配値は価格か否か
- ギャップ（空、窓）も気配値の一種

テクニク編

テクニカル分析の技法の 理解を深めよう

1 テクニカル分析の定義と分類 100

- 定義はシンプル—技法はいくつかに大別できる
- 価格・時間・出来高から相場を分析・予測する
- 価格の分析と価格以外の指標の分析に大別できる
- テクニカル分析はトレンド系とオシレーター系に分類できる

2 ローソク足について知っておこう 104

- ローソク足はテクニカル分析の基本とされる
- ローソク足の描き方
- ローソク足の見方
- ローソク足の意味

3 終値について再考してみよう 114

- 相場がそこにあることを皆が容認した価格
- なぜ、終値は重要視されるのか
- 終値こそが損益の基準
- 寄付も高値も安値も市場参加者が認めなかった価格
- 終値は1日の市場参加者すべての仮想平均コスト

4 2本以上のローソク足の見方を知っておこう 116

- 複数のローソク足の見方には2つのポイントがある
- 2本以上のローソク足を1本にまとめる

5 ローソク足の解釈は信頼できるのだろうか 118

- 「被せ」の売りサインは正しい？

- ローソク足のパターン認識
- 主要転換日の検証
- 「被せ」が出たからといって売ってよいのか

6 酒田五法について知っておこう 124

- ローソク足が複数組合わさったものの解釈をいう
- 五法とは何なのかは明確ではない

7 スピードラインとは何だ？ 126

- 押しと戻しに時間の概念を持ち込んだもの
- 値幅と時間から作成

8 移動平均線は信頼度が低い？ 128

- 移動平均線はテクニカル分析を広めたが……
- 誰もが知っているテクニカル分析技法
- 移動平均線の功罪
- 単純移動平均（Simple Moving Average）の作成

9 移動平均線の原理とは？ 130

- なぜ、ずらして書くのか……
- テクニカル分析と統計学では若干異なる
- 移動平均を最終日にプロットする
- 波動の原理とは？

10 グランビルの8法則について知っておこう 134

- 移動平均の見方の中でも特に有名
- トレンドラインとしての移動平均線
- グランビルの8法則
- 移動平均のその他の見方

11	さまざまな移動平均線について知っておこう	142
	● 移動平均にもいろいろある ■ 修正移動平均 (Running Moving Average) ■ 加重移動平均 (Weighted Moving Average)	
12	移動平均線の弱点を知っておこう	146
	● 移動平均線に対する批判 ■ 批判的に学ぶ ■ 実証分析による移動平均批判 ■ 理論的立場からの移動平均批判 ■ 指数平滑平均について	
13	エリオット波動論について知っておこう	150
	● テクニカル・アナリストの通過儀礼？ ■ 初心者には向いていない？	
14	擬似オシレーター系テクニカル分析	152
	● 過去の一定期間の騰落比率など ■ サイコロジカルラインなどが擬似オシレーター系である	
15	オシレーター系テクニカル分析について知っておこう	154
	● 「振れ」を計測して相場を分析・予測する技法 ■ オシレーター系は逆張りの指標となりやすい ■ オシレーター系テクニカル分析の基本的技法～モメンタム ■ RSI (Relative Strength Index 相対力指数) ■ RSIの見方	
16	ピボットとは何だ？	158
	● 前日の高値・安値・終値から売買水準を計る ■ ピボットは簡便な売買ポイントの認識手段 ■ ピボットを具体的に示せば…… ■ 週足ピボット ■ ウエイテッド・クローズ・チャンネル	